

第 5 回総合開発審議会協議状況報告

ご意見等	対応
<p>「夢と未来を拓く心豊かなまちづくり」について (與儀委員) どちらの案でも構わないが、家庭教育・幼児教育の最初の文章の中に(躰)とあるが、これは省いても良いのでは。</p> <p>(與儀委員)(宮城委員) 幼児教育には、保育所は入ってくると思うが、幼稚園は学校教育の分野に含まれると考えられる。 学校教育の充実の中に「児童生徒」という文章があるので、これを「幼児・児童生徒」として表現した方が良いのでは。 学校教育の充実の中に「確かな学力」という文言を追加したらどうか。 「基本的生活習慣」が躰に捉えられるので、(躰)の(カッコ)を外した方が良い。 躰をひらがな表示にするとやわらかいイメージになる。</p> <p>(神谷会長) P 28 2 番目の文章は、学校、家庭、地域社会、行政との連携が大事だという内容になっているので、今の表現で良い。 (神谷会長) P 28 の「児童生徒」の前に「幼児」を追加していく。「幼児・児童生徒」に修正。 (宮城副会長) 町民が読んで、理解しやすい表現で作成していかないといけない。</p>	<p>「夢と未来を拓く心豊かなまちづくり」について</p> <p>P 28 家庭教育・幼児教育の充実においては、事務局案として2つの内容を考えているが、與儀委員の考えとしては、一つの文章でまとめた方が良いのか。</p> <p>学習指導要領において幼児教育は、別々に分かれていることから、このようにまとめている。</p> <p>「基本的生活習慣・しつけの育成・・・」に修正する。</p>

<p>(與儀委員) 謝花昇の精神や仲本稔の汗水節の心を課題として活かしてほしい。</p> <p>(伊集委員) 基本計画や実施計画の方で、反映されると考えられる。 謝花昇の精神や仲本稔の汗水節の心をどのように町民に共有できるかが重要。</p> <p>「産業の振興による魅力と活力あるまちづくり」について</p> <p>(城田委員) P21の農業の振興、P22の観光・レクリエーションの振興、雇用対策の強化に「体験観光」という文字があるが、農業の振興では「体験型観光」と表現されている。 また、観光・レクリエーションの振興では「体験・滞在・交流型の観光」、雇用対策の強化では「体験滞在交流型の観光」となっているので、文言を統一させた方が良い。</p> <p>パブリックコメントについて</p> <p>(玉城委員) 防災計画の見直しをして、検討した方が良い。また、基本構想・計画の中に備蓄倉庫や防災無線の内容を入れておけば、防災計画の見直しも出来ると考えられる。</p> <p>(神谷会長) 災害時に対応する施設は重要であるが、備蓄倉庫の新設に関しては、もっと協議が必要となってくると思う。</p> <p>(小野委員) 新設ではなく、既存施設を活用する方が良い。</p> <p>(國吉委員) 各自治会や各家庭でも行えるような災害対策もあると思う。それにより予算の削減にも繋がってくる。また、備蓄対策に関する啓発活動</p>	<p>今の件は、町の独自性や教育の方針を出すために、役場内で議論しまとめて、次回の審議会を出すようにしていきたい。</p> <p>謝花昇先生や仲本稔先生、地域防災計画等の今回の議論で問題になった内容については、再度議論していただきたい。</p> <p>「産業の振興による魅力と活力あるまちづくり」について</p> <p>「体験・滞在・交流型の観光」に統一させる。</p> <p>パブリックコメントについて</p> <p>謝花昇先生や仲本稔先生、地域防災計画等の今回の議論で問題になった内容については、再度議論していただきたい。</p> <p>防災計画についても、今ある公共施設を有効活用した備蓄体制を関係課と話し合っていきたい。</p>
--	--

も大切である。

（玉城委員）

実際に災害が起こってからでは遅い。安全・安心のまちづくり観点から物事を考えていた方がよい。防災計画には備蓄の内容は必要である。

（小野委員）

公共施設は避難場所になってくるので、備蓄対策は分散させていく事が大事になってくる。

（伊集委員）

庁舎の一部を備蓄倉庫として利用するのは、問題ないと思う。食料品の賞味期限等の問題が重要となってくる。